

月寒・東月寒地区 学校配置検討委員会ニュース

発行
2024 年 11 月

月寒・東月寒地区では、あやめ野小学校の小規模化による課題の解決等のため、令和 5 年 2 月より「学校配置検討委員会」（以下、「検討委員会」といいます。）を設置し、検討を進めております。

令和 6 年 9 月 18 日に第 7 回学校配置検討委員会を開催いたしました。協議内容につきまして、地域の皆様へお知らせしますので、是非とも多くのご意見をお寄せください。

検討委員会の配布資料等については札幌市教育委員会のホームページに掲載しています。

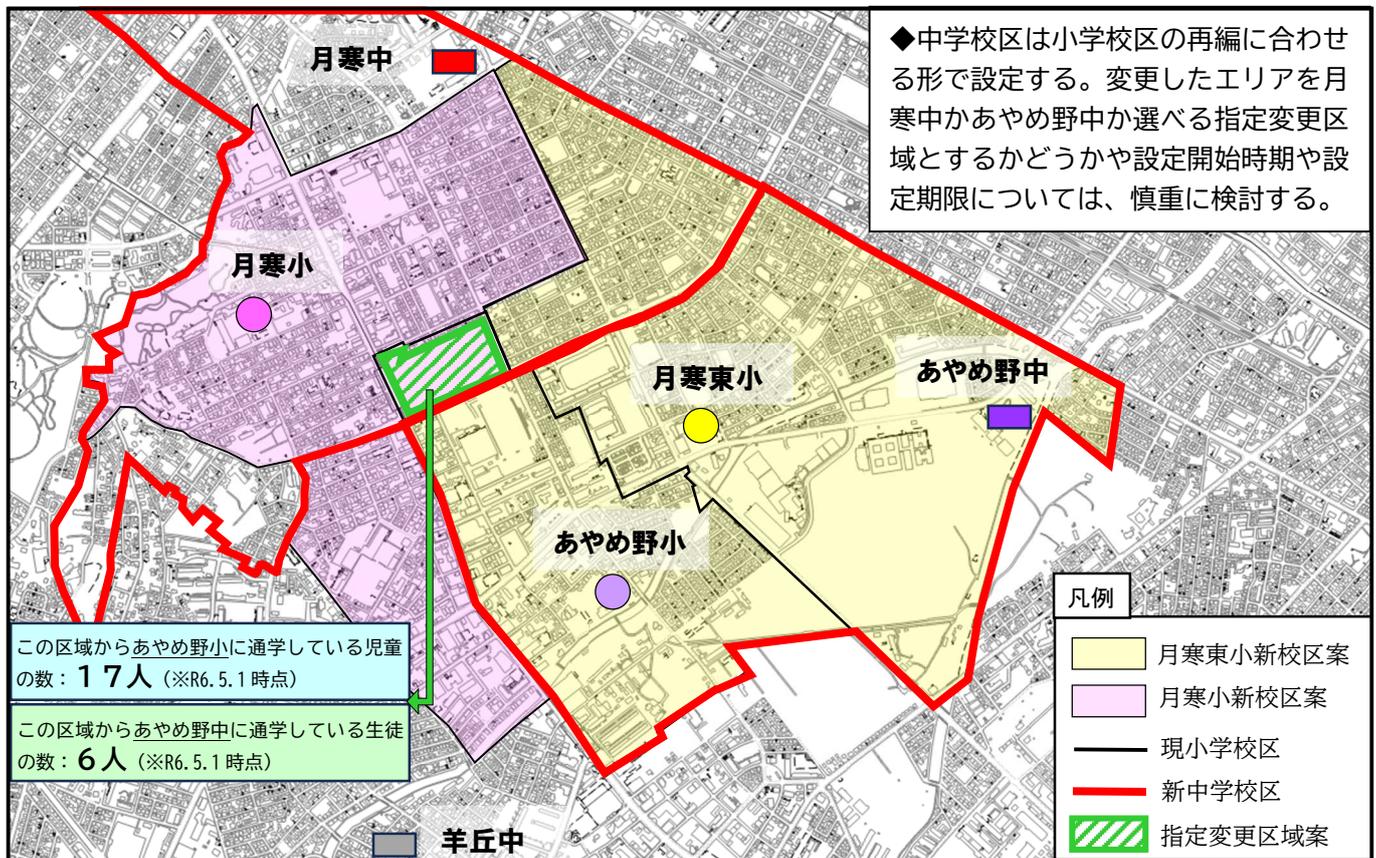
<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/tsukisamu-higashitsukisamu.html>

※第 6 回検討委員会の後、計 1 件のご意見等が寄せられました。第 6 回検討委員会の資料として検討委員会内で共有しております（上記 HP で公開）。内容に応じた協議の中で参考とさせていただきます。

協議事項 1 中学校校区の再編及び校区変更のタイミング等について

※第 6 回学校配置検討委員会での協議を踏まえ、中学校校区の再編等について、事務局が準備した資料に基づいて協議しました。

【資料 4 抜粋】 ※ニュース用に編集しています。実際に配布した資料は公式 HP に掲載しています。



※資料は右記二次元コードよりご覧ください

資料 4 ▶



意見・質疑応答の概要

※類似の発言内容をまとめるなど文言を整理して掲載しています。

※「●」・・・委員からの意見、質問等

※「⇒」・・・委員、札幌市・教育委員会職員からの説明、回答

中学校校区について

⇒【中学校の校長】

- ・「資料4」で（赤線で）示されている、新たな中学校の校区案は妥当な内容と考えます。
- ・中学校も小学校と同じ考え方で校区を再編する方向で問題ないと思いますが、地域や保護者等には極力早めにお知らせした方がいいと思います。

指定変更区域の設定と校区変更について

※資料は右記二次元コードよりご覧ください

参考資料1▶



- 水源池通から北側の地域を指定変更区域とする案について、指定変更区域の設定が極力短い期間の方が学校運営上も望ましい、ということであれば、むしろ早めに、月寒小を正式な指定校とした方がよいのではないかと。
- 早めに校区を変更した場合、あやめ野小の児童数が確保できるかどうか心配。
- この地域に住んでいる方からは「できれば月寒小に通わせたい」という話も出るので、指定変更区域ではなく、正式に校区変更するのに賛成。児童会館の関係や兄弟で一緒の学校に通わせたいなどの事情があれば、個別に教育委員会に相談するということがいいのでは。

⇒【小学校の校長】

- ・途中で学校が変わることや、あやめ野小の児童は新たな学校に通うことで、不安を持たれるかもしれませんが、学校生活のソフト面について、子どもたちが不安にならないよう学校としては全力を尽くします。
- ・環境が変わることで負担に感じるかもしれませんが、学校の再編については、入学や転校などと同様に、前向きにとらえていくのがいいのではないかと考えています。

⇒【教育委員会】

- ・学校運営の面からは、指定変更区域とする地域はできるだけ限定して、期間も短い方が学校運営上は望ましいと考えています。
- ・指定変更区域とすることを検討していた地域の子どもの数も踏まえ、先行して校区の変更を行うことを検討したいと思います。

【協議結果】

- 中学校校区の再編については教育委員会案で進めることとする。
- 指定変更区域は設定せず、小学校および中学校の校区の一部を、校区全体の再編に先行して、正式に校区変更することに問題が無いか、次回以降の検討委員会で確認する。

協議事項2 これまでの議論の整理と意見書の作成について

※資料は右記二次元コードよりご覧ください

資料5▶



資料6▶



※検討委員会での協議内容を意見書としてまとめるため、事務局で作成した意見書（案）（資料5）及び各資料を参考としながら、意見書の内容について協議しました。

月寒・東月寒地区の全体想定スケジュールについて

※関係小学校の建て替え・増築に必要なと見込まれる期間を含めた、規模適正化の取組に係わるスケジュール等について資料を基に事務局より説明し、協議しました。

※資料は右記二次元コードよりご覧ください

参考資料7▶



- 月寒小を建て替えるならば、この学校配置検討委員会で意見書を提出するのを待たずに設計等を始めることはできないのか。
- 小学校の再編は、月寒東小の増築が終わってからなのか、それとも、月寒小の建て替えが終わってからになるのか。
- 検討委員会から意見書の提出となった場合、工事着手は最短でいつからになるのか。

⇒【教育委員会】

- ・校区の再編内容を踏まえた、各小学校の（推計）児童数に基づいて必要な教室数等が決まり、また予算確保の手続きも必要となるので、設計着手は意見書提出以降になります。
- ・学校の再編については、基本的には、月寒小の建て替えと、月寒東小の増築が終わる時期を合わせ、建て替えと増築が完了した後としたいと考えています。

校名等の変更について

- 学校の再編にかかわる子どもたち一人一人が、新しい学校で一緒に学び始めるという気持ちを持って欲しいので、校名などについてはぜひ新しくして欲しい。
- これまでの学校再編における、校名等の検討経緯についても知りたい。
- 次回委員会にて、学校の跡活用と校名等についてあらためて協議する形で進めてはどうか。

⇒【教育委員会】

- ・校名等を変えるとなった場合、具体的な検討は別の枠組みでの協議を想定していますが、この委員会では変える方が良いのかどうかの方向性を協議したいと考えています。

その他

- 意見書の文言について、「聞きながら」だと聞くだけかと思われかねない。「誰が」「誰に対して」などを明確に示すことなども含め、文言は慎重に検討した方がいい。

【協議結果】

- あやめ野小の跡活用や校名等の変更について、意見書にどのような文言で記載するか、次回委員会で検討する。

その他

※関連小学校の校区における人口動態や、マンション開発に伴う人口への影響について、資料に基づき事務局より説明しました。

※資料は右記二次元コードよりご覧ください

参考資料5▶



参考資料6▶



- 新しいマンションが建っても年少人口が大きく増加するわけではないとわかったが、数字だけでなく、地域の特性についても細かく見るべき。

次回の検討委員会について

- ▶会議名 第8回 月寒・東月寒地区 学校配置検討委員会
- ▶開催日時 2024年(令和6年)12月16日 月曜日 16時00分～17時30分
- ▶開催場所 月寒公民館(豊平区月寒中央通7丁目8-19)

※検討委員のみが参加する会議のため、一般の方は入場できません。内容は後日ニュースレターやホームページでお知らせします。また、日程は都合により変更となる場合があります。

次回(第8回)検討委員会の議題(予定)

- ▶第7回検討委員会の振り返り ▶地域や保護者の皆様から寄せられた声の紹介
- ▶これまでの取組事例を参考とした学校跡活用に関する検討 ▶学校再編後の校名について
- ▶意見書の詳細検討 ▶その他、当日協議を行う必要があるもの

ご意見、ご質問は、下記事務局までお寄せください。

月寒・東月寒地区 学校配置検討委員会事務局

- ▶札幌市教育委員会生涯学習部学校施設課(学校配置マネジメント担当)
- ▶電話: 011-211-3836 FAX: 011-211-3837
- ▶e-mail: gakkokibo@city.sapporo.jp

検討委員会の開催概要は札幌市教育委員会のウェブページにも掲載しています。

<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/tsukisamu-higashitsukisamu.html>

学校規模適正化 月寒・東月寒

検索



さっぽろ市
02-S01-24-2209
R6-2-1464

SAPPORO